

年月日	摘要	收入額	收入計額	支出額	支出計額	差引殘	年月日
		圓	圓	圓	圓	圓	

入金	拂出		差引		殘計
	現	預	現	預	
圓	圓	圓	圓	圓	圓

年月日	摘要	豫算額	支出額	豫算殘額
		圓	圓	圓

歳出簿ノ様式
 二 本帳簿ハ豫算ノ種目毎ニ口座ヲ分ツヘシ
 三 本帳簿ハ一件毎ニ記載スヘシ

摘要	借入額	返還額	未返還額
	圓	圓	圓

備考
 一 本帳簿ハ豫算ノ種目毎ニ口座ヲ分ツヘシ
 二 本帳簿ハ一件毎ニ記載スヘシ
 三 本帳簿ノ末尾ニ左ノ様式ニ依リ一時借入金及準備金繰替使用ノ部並收支差引殘ノ部ヲ附スヘシ尙收支差引殘ノ部ハ日計額ヲ記載スヘシ

年月日	科目	摘要	受	
			現	預
			圓	圓

- 備考
- 一 本帳簿ハ一件毎ニ記載スヘシ
 - 二 受入ノ「現金」欄ニ記載スルモノノ中ニハ預金ヲ拂戻シタルモノヲモ含ミ拂出ノ「現金」欄ニ記載スヘキモノノ中ニハ現金ヲ預入シタルモノヲモ含ムモノトス
 - 三 受入ノ「預金」欄ハ預金ヘ直ニ受入レタル収入金ノミヲ記載シ拂出

〔山梨警〕

ノ「預金」欄ハ預金ヨリ直ニ拂出シタル支出金ノミヲ記載スヘシ

●健康保險組合臺帳閱覽ノ件

大正十五年十月十九日
内務省令第四十九號

- 改正 昭和四年七月内務省令第三〇號
- 健康保險組合臺帳閱覽ノ件左ノ通定ム
- 健康保險組合臺帳閱覽ノ件
- 一 道府縣廳(東京府ニ在リテハ警視廳)ニハ其ノ管轄区域内ニ事務所ヲ有スル健康保險組合ニ付左ニ掲ケル事項ヲ記載シタル健康保險組合臺帳ヲ備フ
 - 二 組合ノ名稱
 - 三 事務所ノ所在地
 - 四 設立認可ノ年月日
 - 五 理事長ノ氏名、住所及就職年月日
- 前項ノ健康保險組合臺帳ハ何人ト雖利害關係アル場合ニ於テハ其ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得
- 前項ノ規定ニ依リ閱覽ヲ求ムル者アルトキハ地方長官(東京府ニ在リテハ警視廳)ハ正當ノ事由アルニ非サレハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

●健康保險組合ニ對シ交付スル國庫負擔金ノ概算拂ニ關スル件

昭和二年二月十六日
内務省令第九號

〔山梨警〕

健康保險組合ニ對シ交付スル國庫負擔金ノ概算拂ニ關スル件左ノ通定ム

- #### 健康保險組合ニ對シ交付スル國庫負擔金ノ概算拂ニ關スル件
- 第一條 健康保險組合國庫負擔金ノ概算拂ヲ受ケムトスルトキハ毎年度四月三十日及九月三十日迄ニ左ノ事項ヲ具シ社會局長官ニ申請スヘシ
 - 一 當該年度ニ於ケル保險給付ニ要スル費用ノ豫算額
 - 二 第三條第二項ノ規定ニ依リ計算シタル被保險者ノ員數ノ平均數及其ノ計算ノ基礎ト爲リタル各月末ニ於ケル被保險者ノ員數
 - 三 概算拂ヲ受ケムトスル額
 - 第二條 概算拂ハ毎年度二回之ヲ爲ス
 - 第三條 毎回ノ概算拂額ハ當該年度ニ於ケル當該健康保險組合ノ保險給付ニ要スル費用ノ豫算額ノ百分ノ四以內トシ八十錢ニ被保險者ノ員數ヲ乘シテ得タル額ヲ超エサルモノトス
 - 第四條 概算拂ヲ受ケタル健康保險組合ハ當該年度支拂閉鎖期日後三日以內ニ左ノ事項ヲ社會局長官ニ報告スヘシ
 - 一 當該年度ニ於テ健康保險法施行令第九十一條ノ國庫負擔金算定ノ基礎タル保險給付ニ要シタル費用ノ決算額及其ノ内譯
 - 二 當該年度ノ各月末ニ於ケル被保險者ノ員數
 - 三 概算拂ヲ受ケタル額
- 附則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●公共團體ノ收入及仕拂ニ關シ國庫出納金端數計算法準用ノ件

大正五年八月二十三日
勅令第二百九號

- 改正 大正九年九月勅令第四三六號、一二年三月第五五號、一三年二月第三〇一號、昭和二年三月第三四號、六年三月第三二號
- 大正十五年於ケル概算拂ハ之ヲ一回トス其ノ額ハ同年度ニ於ケル保險給付ニ要スル費用ノ豫算額ノ百分ノ八以內トシ四十錢ニ被保險者ノ員數ヲ乘シテ得タル額ヲ超エサルモノトス
- 前項ノ被保險者ノ員數ハ概算拂申請ノ日前五日目ノ現在ニ依ル
- 公共團體ノ收入及仕拂ニ關シ國庫出納金端數計算法準用ノ件
- 大正十五年九月勅令第四三六號、一二年三月第五五號、一三年二月第三〇一號、昭和二年三月第三四號、六年三月第三二號
- 公立公共團體ノ收入及仕拂ニ關シ國庫出納金端數計算法準用ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
- 第一條 國庫出納金端數計算法第六條ノ規定ニ依リ公共團體ヲ指定スルコト左ノ如シ
- 一 市制第六條ノ市ノ區
 - 二 水利組合
 - 三 北海道土功組合
 - 四 健康保險組合
 - 五 朝鮮ノ道地方費、府邑面、郡島學校費、學校組合及水利組合
 - 六 臺灣ノ州、廳地方費、市街庄及水利組合
 - 七 樺太ノ町村
- 第二條 國庫出納金端數計算法第六條ノ公共團體ノ收入及仕拂中左ニ掲ケル種目ニハ同法ヲ準用セス
- 一 法令ニ依リ當然公共團體ニ歸屬スル収入金

- 二 貨幣交換差金
- 三 外國貨幣ヲ基礎トスル收入金及仕拂金
- 四 缺損補填金

附則

本令ハ大正五年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

健康保險組合規約例

大正十五年八月二十四日 官報

社會局ニ於テ立案シタル健康保險組合規約例左ノ如シ

何健康保險組合規約

第一章 總則

第一條 本組合ハ組合員タル被保險者ノ健康保險ヲ管掌スルヲ以テ目的トス

第二條 本組合ハ何健康保險組合ト稱ス

第三條 本組合ノ事務所ハ左ノ場所ニ之ヲ置ク

(主たる事務所)

何府縣何郡市何町村何番地

從タル事務所

何府縣何郡市何町村何番地

第四條 本組合ノ設立アル事業ノ名稱及所在地左ノ如シ

何會社(何會社何工場)何府縣何郡市何町村何番地

(何會社(何會社何工場)何府縣何郡市何町村何番地)

第五條 本組合ニ於テ公示スヘキ事項ハ組合ノ揭示場ニ揭示(何市ニ於テ

〔山梨縣〕

發行スル何新聞ニ掲載ス

第六條 本組合ノ帳簿及書類ノ保存ニ關スル規定ハ組合會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第二章 組合會

第七條 本組合ノ組合會議員ノ定數ハ何人トス

第八條 左ニ掲グル者ハ議員タルコトヲ得ス

- 一 十八歳未満(何歳未満)ノ者

二 健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者

三 何々

第九條 議員ノ任期ハ何年トス(但シ事業主タル議員(事業主ノ選定シタル議員)ノ任期ハ無期限(何年)トス)

議員ノ任期ハ選定又ハ選舉ノ日ヨリ之ヲ起算ス

補闕ノ爲選定又ハ選舉セラレタル議員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第十條 (選舉區ノ設定) 被保險者タル組合員ノ互選スル議員ハ各

選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス

何工場(何事業場) 何事業場(何事業場) 何何何

何工場(何事業場) 何何何

何工場(何事業場) 何何何

何工場(何事業場) 何何何

何工場(何事業場) 何何何

何工場(何事業場) 何何何

何工場(何事業場) 何何何

何工場(何事業場) 何何何

何工場(何事業場) 何何何

何工場(何事業場) 何何何

何工場(何事業場) 何何何

何工場(何事業場) 何何何

〔山梨縣〕

第十二條 選舉人ハ選舉會場ニ於テ投票用紙ノ交付ヲ受ケ之ニ被選舉人一人ノ氏名ヲ記載シテ投函スヘシ

投票用紙ハ理事ノ定メタル一定ノ式ヲ用フルモノトス

第十三條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

一 成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ

二 現ニ組合會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

三 一票中二人以上ノ被選舉人ノ氏名ヲ記載シタルモノ

四 被選舉人ノ何人タルカヲ確認シ難キモノ

五 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

六 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ職業、身分、住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十四條 投票ノ效力ハ選舉立會人ノ決定ス可同數ナルトキハ選舉長之ヲ決ス

第十五條 議員ノ選舉ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但シ(各選舉區ニ於テ)選舉スヘキ議員ノ數ヲ以テ(其ノ選舉區ノ)有效投票ノ總數ヲ除シテ得タル數ノ五分ノ一以上(何分ノ一以上)ノ得票アルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同シキトキハ選舉長抽籤ニ依リ之ヲ定ム

第十六條 選舉長ハ選舉錄ヲ調整シテ選舉ノ顛末ヲ記載シ選舉立會人ト共ニ之ニ署名スヘシ

第十七條 當選者定マリタルトキハ理事ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知スヘシ

當選者當選ヲ辭セムトスルトキハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内(何日以内)ニ之ヲ理事ニ申立ツヘシ

第十八條 選舉スヘキ議員ノ數ニ足ル當選者ヲ得ルコト能ハサルトキハ其

第九編 健康保險 第一章 總規

不足ノ員數ニ付更ニ選舉ヲ行フ

第十九條 當選者當選ヲ辭シタルトキ、選舉ノ期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セサルニ至リタルトキ又ハ死亡者ナルトキハ第十五條第一項但書ノ得票者ニシテ當選者ト爲ラザリシ者ヲ以テ順次當選者トス

前條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ當選者ヲ得ルコト能ハサル場合ニ之ヲ準用ス

第二十條 選舉ノ規定ニ違反スルコトアルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルノ虞アル場合ニ限り其ノ選舉ヲ無効トス但シ當選ニ異動ヲ生スルノ虞ナキ者ヲ區分シ得ルコトキハ其ノ者ニ限り當選ヲ失フコトナシ

第二十一條 第十九條ノ規定ハ當選無効ト確定シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十二條 被保險者タル組合員ノ互選スル議員中關員ヲ生シタルトキハ(其ノ選舉區ニ於テ)補闕選舉ヲ行フ但シ總選舉ノ日ヨリ六月以内(何月以内)ニ關員ヲ生シタルトキハ第十九條ノ例ニ依ル

第二十三條 事業主ノ選定スル議員ハ補闕議員ヲ除クノ外各議員ニ付同時ニ之ヲ選定スヘシ

議員ニ關員ヲ生シタルトキハ事業主ハ遲滞ナク補闕議員ヲ選定スヘシ

第二十四條 (議員ノ選定ハ事業主ノ協議ニ依リ之ヲ爲スヘシ)

事業主議員ノ選定ヲ爲シタルトキハ文書ヲ以テ之ヲ理事ニ通知スヘシ

第二十五條 理事組合會ヲ召集セムトスルトキハ會議ノ目的タル事項、開會ノ日時及場所ヲ、急施ヲ要スル場合ヲ除クノ外開會ノ日ヨリ少クとも三日前(何日前)ニ議員ニ通知スヘシ

議員定數ノ三分ノ一以上ヨリ會議ノ目的タル事項ヲ示シテ組合會召集ノ請求ヲ爲シタルトキハ理事ハ七日以内(何日以内)ニ之ヲ召集スヘシ

第二十六條 互選議員又ハ選定議員會議ニ出席スルコト能ハサルトキハ豫メ書面ヲ以テ各互選議員又ハ選定議員ニ委任シテ表決ヲ爲スコトヲ得

第二十七條 會議ニ出席スルコト能ハサル議員ノ委任ヲ受ケテ表決ヲ爲ス
議員ハ委任ヲ受ケタルコトヲ證スル書面ヲ議長ニ提出スヘシ
第二十八條 組合員ハ組合會ノ會議ヲ傍聽スルコトヲ得但シ組合會ニ於テ
傍聽禁止ノ議決アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス
第二十九條 會議録ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載ス
一 開會ノ日時及場所
二 議員ノ定數
三 出席シタル互選議員ノ氏名(數)及選定議員ノ氏名(數)
四 議事ノ要領
五 議決シタル事項及贊否ノ數
六 其ノ他必要ナル事項
第三十條 組合會ハ會議規則ヲ設ケヘシ
第三十一條 議員ノ旅費額及其ノ支給方法ハ組合會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム
第三十二條 被保險者タル議員其ノ職務ヲ行フニ因リ平常ノ業務ニ對スル
報酬ヲ受ケルコトヲ得サル場合ニ於ケル補償ノ額ハ其ノ受ケルコトヲ得
サル報酬額ヲ標準トシテ理事之ヲ定メ組合ノ設立アル事業ニ於ケル報酬
支拂日迄ニ之ヲ支給ス
第三章 理事
第三十三條 本組合ノ理事ノ定數ハ何人トス
第三十四條 理事ノ任期ハ何年トシ其ノ選舉ノ日ヨリ之ヲ起算ス
補闕ノ爲選舉セラレタル理事ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス
理事ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就任スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス
第三十五條 理事及理事長ノ選舉ハ組合會ノ議決ヲ經テ定メタル方法ニ依ル
第三十六條 理事長故障アルトキ其ノ職務ヲ代理スルハ理事ハ理事長之ヲ
指名ス

(山梨警)

第三十七條 第三十一條及第三十二條ノ規定ハ理事ノ受ケヘキ旅費及補償
ニ付テ之ヲ準用ス
第三十八條 本組合ニ必要ナル事務員ヲ置キ理事之ヲ任免ス
第四章 事業
第三十九條 療養ノ給付ニ關シ被保險者ノ選定シ得ヘキ醫師、齒科醫師及
藥劑師ハ組合會ノ議決ヲ經テ之ヲ指定ス
第四十條 傷病手當金又ハ出産手當金支給期日ハ毎月何日、何日及何日ト
ス(但シ毎月一回報酬ノ支拂ヲ受ケル被保險者ニ付テハ毎月何日トス)
前項ノ期日休日ニ當ルトキハ之ヲ繰下ク(繰上ク)
毎支給期日ニ於テ支給スル傷病手當金又ハ出産手當金ハ其ノ支給期日ノ
二日前(何日前)迄ニ請求アリタル分トス
第 條 (事業主ノ負擔スヘキ保險料額ノ負) 保險料額ノ何分ノ
何ハ事業主、何分ノ何ハ被保險者ニ於テ之ヲ負擔ス
第 條 (組合ノ設立アル事業ノ一部ニ付事業) 何々ノ業務ニ使
用セラレル被保險者ニ關スル保險料ニ付テハ事業主ハ其ノ何分
ノ何、被保險者ハ其ノ何分ノ何ヲ負擔ス
第 條 (少額ノ報酬ヲ受ケル被保險者ニ付事業) 報酬日額何々
錢未滿ノ報酬ヲ受ケル被保險者ニ關スル保險料ニ付テハ事業主
ノ負擔額ハ報酬日額何々錢以上何々錢未滿ノ報酬ヲ受ケル被保
險者ニ關スル保險料ニ付テハ事業主ノ負擔額トス但シ
其ノ額カ保險料ノ全額ヲ超過スル場合ニ於テハ事業主ノ負擔額
ハ保險料ノ全額トス
第五章 財務

(山梨警)

第四十一條 豫備費ヲ以テ充ツルコトヲ得ル費途左ノ如シ
一 保險給付費
二 保健施設費
三 何々
第四十二條 準備金以外ノ財産ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ管理ス
一 有價證券ハ郵便局ニ保管ヲ託シ、確實ナル銀行ニ保護預トシ又ハ信
託會社ニ信託ス
二 現金ハ郵便貯金ト爲シ、確實ナル銀行ニ預入レ又ハ信託會社ニ信託
ス
三 前各號ニ掲グル以外ノ財産ノ管理ハ組合會ノ議決ヲ經テタル方法ニ依
ル

第 條 組合ニ於テ賣買、貸借、請負其ノ他ノ契約ヲ爲サムトスル
トキハ總テ公告シテ競争ニ付ス但シ契約ノ性質若ハ目的カ競争ヲ許
ササル場合、理事ニ於テ競争ニ付スルヲ不利ト認ムル場合又ハ急迫
ノ際競争ニ付スルノ暇ナキ場合ニ於テハ指名競争ニ付シ又ハ隨意契
約ニ依ル
(備考)
本規約例ニ記載シタルモノノ外健康保險法施行令第二條第三項、第四條第
四項、第五條第三項及第百一條ノ規定ニ依リ規約ニ委任セラレタル事項其
ノ他必要ト認メラルル事項ハ別ニ條文ヲ設ケテ之ヲ記載スルコトヲ得

健康保險審查會ノ名稱、位置及管轄區域

大正十五年十一月二十日
內務省告示第七十四號
昭和三十四年四月內務省告示第一〇九號、八月第二五七號、九月第三〇〇號、一二月第
三七二號、五年一〇月第一九七號
健康保險審查會ノ名稱、位置及管轄區域左ノ通定メ大正十六年一月一日ヨ

リ之ヲ施行ス
健康保險審查會ノ名稱、位置及管轄區域

Table with 4 columns: 名稱 (Name), 位置 (Location), 管轄區域 (Jurisdiction Area), and 管轄區域 (Jurisdiction Area). Rows list various health insurance review committees across different prefectures and cities.

奈良縣第一次健康保險審查會	奈良縣奈良市	奈良縣
三重縣第一次健康保險審查會	三重縣津市	三重縣
愛知縣第一次健康保險審查會	愛知縣名古屋	愛知縣
靜岡縣第一次健康保險審查會	靜岡縣靜岡市	靜岡縣
山梨縣第一次健康保險審查會	山梨縣甲府市	山梨縣
滋賀縣第一次健康保險審查會	滋賀縣大津市	滋賀縣
岐阜縣第一次健康保險審查會	岐阜縣岐阜市	岐阜縣
長野縣第一次健康保險審查會	長野縣長野市	長野縣
宮城縣第一次健康保險審查會	宮城縣仙台市	宮城縣
福島縣第一次健康保險審查會	福島縣福島市	福島縣
岩手縣第一次健康保險審查會	岩手縣盛岡市	岩手縣
青森縣第一次健康保險審查會	青森縣青森市	青森縣
山形縣第一次健康保險審查會	山形縣山形市	山形縣
秋田縣第一次健康保險審查會	秋田縣秋田市	秋田縣
福井縣第一次健康保險審查會	福井縣福井市	福井縣
石川縣第一次健康保險審查會	石川縣金澤市	石川縣

〔山梨縣〕

富山縣第一次健康保險審查會	富山縣富山市	富山縣
鳥取縣第一次健康保險審查會	鳥取縣鳥取市	鳥取縣
島根縣第一次健康保險審查會	島根縣松江市	島根縣
岡山縣第一次健康保險審查會	岡山縣岡山市	岡山縣
廣島縣第一次健康保險審查會	廣島縣廣島市	廣島縣
山口縣第一次健康保險審查會	山口縣吉敷郡	山口縣
和歌山縣第一次健康保險審查會	和歌山縣和歌山市	和歌山縣
德島縣第一次健康保險審查會	德島縣德島市	德島縣
香川縣第一次健康保險審查會	香川縣高松市	香川縣
愛媛縣第一次健康保險審查會	愛媛縣松山市	愛媛縣
高知縣第一次健康保險審查會	高知縣高知市	高知縣
福岡縣第一次健康保險審查會	福岡縣福岡市	福岡縣
大分縣第一次健康保險審查會	大分縣大分市	大分縣
佐賀縣第一次健康保險審查會	佐賀縣佐賀市	佐賀縣
熊本縣第一次健康保險審查會	熊本縣熊本市	熊本縣
宮崎縣第一次健康保險審查會	宮崎縣宮崎市	宮崎縣

〔山梨縣〕

鹿兒島縣第一次健康保險審查會	鹿兒島縣鹿兒島市	鹿兒島縣
沖繩縣第一次健康保險審查會	沖繩縣那霸市	沖繩縣

第二次健康保險審查會	東京府東京市	北海道及各府縣
------------	--------	---------

第三次健康保險審查會	東京府東京市	北海道及各府縣
------------	--------	---------

●健康保險審查會職員旅費手當支給規則

昭和二年十一月二日 勅令第三百十四號

健康保險審查會職員旅費手當支給規則

第一條 健康保險審查會會長及委員其ノ資格ヲ以テ旅行スルトキハ在職官吏タル者ニハ其ノ本官相當ノ旅費ヲ、其ノ他ノ者ニハ別表ニ依ル旅費ヲ支給ス但シ第三條ノ規定ニ依リ日當ヲ受クル場合ニ於テハ別表ニ依リ日當ヲ支給セズ

第二條 本令ニ依ル旅費ハ會議ノ召集セラレタル場合ニ於テハ會議地又

ハ會議地ヲ距ル三里以内ノ地ニ居住スル者ニハ之ヲ支給セズ

第三條 健康保險審查會ノ委員其ノ職務ヲ執行シタルトキハ第一次健康保險審查會ノ委員ニ對シテハ七圓、第一次健康保險審查會ノ會長及第二次健康保險審查會ノ委員ニ對シテハ十圓、第三次健康保險審查會ノ委員ニ對シテハ十五圓ノ日當ヲ支給ス但シ官吏ニシテ委員タルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第四條 本令ニ定ムルモノノ外旅費ノ支給ニ關シテハ內國旅費規則ヲ準用ス

附則

本令ハ昭和二年九月二十日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

(別表)

種別	第一健康保險審查會委員	第二健康保險審查會會長及委員	第三健康保險審查會委員
及鐵道貨車馬賃日當宿泊料食卓料	二	二	二
(一里)	七十五錢	九十錢	七十五錢
(一日)	三圓	五圓	三圓
(一夜)	五圓	八圓	五圓
(二夜)	二圓	五圓	二圓
(二夜)	五圓	八圓	五圓
(二夜)	二圓	五圓	二圓

(備考)

鐵道貨及船賃ハ運賃等級ヲ二階級ニ區分スル場合ニハ上級ノ運賃トシ、其ノ等級ヲ區分セザル場合ニハ其ノ乘車又ハ乘船ニ要スル運賃トス

●口頭審問ノ爲健康保險審查會ニ出頭シタル者ニ對スル旅費支給ノ件

昭和二年四月四日
內務省令第二十一號

改正 昭和五年五月內務省令第一五號
口頭審問ニ應スル爲健康保險審查會ニ出頭シタル者ニ對スル旅費支給ノ件
左ノ通定ム

- 第一條 健康保險審查會ニ口頭審問ノ爲出頭シタル當事者及之ニ代リテ出頭シタル者ニ對シテハ本令ニ依リ旅費ヲ支給ス
- 第二條 旅費ハ鐵道賃、船賃、陸路雜費、車馬賃、宿泊料及食卓料ノ六種トシ各其ノ順路ニ依リテ之ヲ支給ス但シ天災事變其ノ他已ムヲ得サル事由ニ依リ順路ニ依リテ旅行シ難キ場合ハ實際ノ經路ニ依ル
- 第三條 鐵道旅行ニハ鐵道賃及水路旅行ニハ船賃ノ各其ノ最低賃金ニ相當スル額ヲ支給ス
- 第四條 鐵道八十五軒以上、水路五十海里以上ノ旅行ニ在リテハ前項ノ額ノ外普通急行料金ヲ支給ス但シ急行料金ヲ徵セサル線路又ハ航路ニ依リ旅行ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス
- 第五條 陸路旅行ニ付テハ一里毎ニ陸路雜費十錢ヲ支給ス但シ片道一里未滿ノ陸路旅行ノ場合ニ於テ通算上一里未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ切捨トス
- 第六條 不具、癩疾、傷寒、疾病等ノ爲歩行シ能ハサルトキハ其ノ陸路旅行ニ付テハ一里毎ニ車馬賃五十錢ヲ支給ス但シ通算上一里未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ切捨トス

〔山梨警〕

- 前項ノ場合ニ於テハ陸路雜費ヲ支給セス
- 第六條 宿泊料ハ一夜ニ付二圓ヲ支給ス但シ水路旅行ニ付テハ之ヲ支給セス
- 第七條 食卓料ハ船賃ノ中ニ食費ヲ含マサルトキ又ハ官用ノ船舶ニ依リ旅行スル場合ニ於テ官ヨリ賄ヲ爲ササルトキハ一夜ニ付一圓ヲ支給ス
- 第八條 車馬賃ヲ請求セムトスルトキハ不具、癩疾、傷寒、疾病等ノ爲歩行シ能ハサル旨ノ醫師ノ診斷書ヲ請求書ニ添附スヘシ
- 第九條 旅行中死亡シタルトキハ其ノ居住地ニ至ル旅費ニ相當スル金額ヲ遺族ニ支給ス此ノ場合ニ於テハ陸路旅行ニ付テハ第五條ノ例ニ依ル
- 第十條 內國旅費規則第五條及第七條ノ規定ハ本令ニ依リ旅費ノ支給ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●健康保險特別會計法

大正十五年三月二十九日
法律第二十六號

改正 昭和四年三月法律第一二號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル健康保險特別會計法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

健康保險特別會計法

- 第一條 健康保險事業ヲ經營スル爲特別會計ヲ設置シ其ノ歲入ヲ以テ其ノ歲出ニ充ツ
- 第二條 本會計ニ於テハ保險料、一般會計ヨリ繰入ルル金額、積立金ヨリ生スル收入、借入金及附屬雜收入ヲ以テ其ノ歲入トシ保險給付費、保健施設費、借入金ノ償還金及其ノ利子、一時借入金ノ利子、事業取扱費、

〔山梨警〕

昭和元年十二月二十九日
勅令第四號

改正 昭和四年四月勅令第三五號

朕健康保險特別會計規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

健康保險特別會計規則

- 第一條 歲入歲出ノ豫定計算書ハ所管大臣之ヲ調製シ前年度九月三十日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スベシ
- 第二條 豫定計算書ニハ其ノ年三月三十一日現在ノ積立金明細目錄ヲ添付スベシ
- 第三條 歲入歲出ノ豫算ハ決定ノ後豫備費ヲ除キ所管大臣社會局長官ニ命ジテ之ヲ執行セシムベシ但シ他ノ官吏ニ命ジテ其ノ一部ヲ執行セシムルコトヲ得
- 第四條 本會計ニ於テハ當該年度ノ收入濟歲入額及一時借入金ヲ以テ支拂元受高トシ歲出ヲ支出スルハ此ノ支拂元受高ヲ超過スルコトヲ得ズ
- 第五條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ不足ヲ生ジタルトキハ所管大臣ハ大藏大臣ノ承認ヲ經テ積立金ニ屬スル現金ヲ前條ノ支拂元受高ニ繰替使用スルコトヲ得
- 第六條 前項ノ場合ニ於テ仍不足アルトキハ所管大臣ハ大藏大臣ニ對シ一時借入金ニ代ヘ國庫餘裕金ノ繰替使用ヲ請求スルコトヲ得
- 第七條 前二項ノ規定ニ依リ繰替使用シタル金額ハ當該年度内ニ之ヲ返還スベシ
- 第八條 保險料收入ノ年度所屬ハ其ノ保險料ヲ負擔スベキ義務ノ發生シタル日ノ屬スル年度ニ依ル
- 第九條 毎年度出納ノ完結迄ニ收入濟又ハ支出濟ト爲ラザルモノハ現ニ其ノ收支ヲ爲シタル年度ノ歲入又ハ歲出トス

附則

本法ハ大正十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●健康保險特別會計規則

第九編 健康保險 第一章 總規

- 第八條 健康保險特別會計法第三條第一項ニ規定スル被保險者ノ員數ノ計算ニ付テハ健康保險法施行令第九十二條ノ規定ヲ準用ス
- 第九條 歳入徴收官ハ毎月徴收報告書ヲ調製シ参照書類ヲ添ヘテ之ヲ社會局長官ニ送付スベシ
- 第十條 社會局長官ハ徴收報告書ニ依リ毎月徴收總報告書ヲ調製シ参照書類ヲ添ヘ所管大臣ヲ經由シテ其ノ翌月中ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スベシ
- 第十一條 支出官ハ毎月支出濟額報告書ヲ調製シ之ヲ社會局長官ニ送付スベシ
- 第十二條 社會局長官ハ支出濟額報告書ニ依リ毎月支出總報告書ヲ調製シ支出濟額報告書ヲ添ヘ所管大臣ヲ經由シテ其ノ翌月中ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スベシ
- 第十三條 毎年度ノ歳入ノ收入濟額ヨリ歳出ノ支出濟額及翌年度繰越額ヲ控除シタル殘餘ハ總テ之ヲ積立金ニ組入ルベシ
- 第十四條 歳入歳出ノ決定計算書ハ所管大臣之ヲ調製シ翌年度七月三十一日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スベシ
- 第十五條 社會局ハ日記簿、原簿及補助簿ヲ備ヘ健康保險ニ關スル一切ノ計算ヲ登記スベシ
- 第十六條 社會局ハ歳入簿ヲ備ヘ歳入ノ豫算額、測定濟額、收入濟額、不納缺損額及收入未濟額ヲ登記スベシ
- 第十七條 支出官ハ支出簿ノ外支拂元受高差引簿ヲ備ヘ支拂元受高、支出濟額及殘額ヲ登記スベシ
- 第十八條 社會局ハ歳出簿及支拂元受高差引簿ヲ備ヘ歳出簿ニハ歳出ノ豫算額、豫算決定後增加額、支出濟額、翌年度繰越額及殘額ヲ登記シ支拂元受高差引簿ニハ支拂元受高、支出濟額及殘額ヲ登記スベシ
- 第十九條 本令ニ規定セザルモノニ付テハ會計規則ヲ準用ス

〔山梨警〕

附則
本令ハ昭和二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

健康保險特別會計事務取扱規程

昭和元年十二月三十日
內務省訓令第二號

改正 昭和四年七月內務省訓令第一號、九年五月第八號、一〇年五月第八號

- 第一條 健康保險特別會計ニ關スル事務ハ本規程ニ依リ之ヲ取扱フヘシ
- 第二條 歳入ノ徴收ニ關シテハ社會局長官、北海道廳長官、府縣知事（東京府ニ在リテハ警視廳）及廳府縣健康保險出張所長ヲ歳入徴收官トス
- 第三條 歳入徴收官ハ保險料、督促手數料及延滞金ノ徴收ニ付テハ徴收補助簿ヲ備ヘ各納人別ニ納入ノ住所氏名、測定濟額、收入濟額、不納缺損額、收入未濟額及測定濟、收入濟又ハ不納缺損處分ノ年月日其ノ他必要ナル事項ヲ登記スベシ
- 第四條 前項ノ徴收補助簿ハ之ヲ各郡市區別ニ編綴シ其ノ末尾ニ計ヲ附スヘシ
- 第五條 歳入徴收官ハ領收濟通知書（出納官吏拂込ノ分ヲ除ク）、領收濟報告書（本規程第十五條ノ規定ニ依リ現金領收證書ノ原符ヲ以テ代用スル場合ニ於テハ其ノ原符）及歳入組入報告書ニ基キ收入濟額日計表ヲ作製スベシ
- 第六條 歳入徴收官日本銀行ヨリ領收濟通知書及歳入組入報告書ノ送付ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ額ヲ支出官ニ通知スヘシ
- 第七條 歳入徴收官ハ測定超過ニ依リ過納又ハ測定外誤納ヲ生シタル場合ニ於テハ過誤納額整理簿ヲ備ヘ年度、科目、金額、事由、納人ノ住所氏名、還付又ハ充當ノ額未其ノ他必要ナル事項ヲ登記スベシ

〔山梨警〕

- 第七條 歳入徴收官ハ健康保險法第十一條ノ二第二項ノ規定ニ依リ滯納處分ヲ市町村ニ請求シタル場合ニ於テハ處分請求滯納者整理簿ヲ備ヘ年度、科目、金額、納期、請求市町村、滯納者ノ住所氏名、督促狀發付年月日及指定期限其ノ他必要ナル事項ヲ登記シ處理ノ顛末ヲ明瞭ナラシムヘシ
- 第八條 歳入徴收官不納缺損處分ヲ爲シタルモノニ付テハ納人ノ住所氏名、科目、金額、事由及保險料ニ付テハ所屬年月等ヲ記載シタル書類ヲ徴收報告書ニ添付スヘシ
- 第九條 歳入徴收官ハ會計規則第七十三條ニ依リ歳入徴收額計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ會計規則第七十五條ニ依リ其ノ長官ヨリ年三回（自四月至八月、自九月至十二月、自一月至四月各期間分）毎翌月十五日迄ニ會計検査院ニ送付スヘシ
- 第十條 歳入徴收官ハ出納官吏、郵便局又ハ日本銀行ニ於テ現金收納後納入告知書又ハ納付書ニ記載セル毎年度、所管、會計名又ハ款項ニ誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ翌年度五月三十一日迄ニ出納官吏、取纏郵便局又ハ日本銀行ニ之ヲ訂正ヲ請求スベシ
- 第十一條 保管金取扱規程第十六條及政府保管有價證券取扱規程第二十條ノ主務官廳ハ社會局、北海道廳、府縣（東京府ニ在リ）及廳府縣健康保險出張所トス
- 第十二條 毎年度ノ支拂豫算ハ社會局長官、北海道廳長官、府縣知事及廳府縣健康保險出張所長ニ之ヲ令達ス
- 第十三條 支出官（社會局長官タル）ハ歳入金ノ受入ニ依リ支拂元受高ヲ社會局長官タル支出官ノ支拂元受高ニ轉換ヲ爲シ其ノ旨直ニ社會局長官ニ通知スヘシ但シ差當リ支拂ニ必要ナル資金ハ此ノ限ニ在ラス
- 第十四條 支出官（社會局長官タル）當該年度最終ノ小切手ヲ振出シタルトキハ直ニ其ノ支拂元受高ノ殘額ヲ社會局長官タル支出官ノ支拂元受高ニ

- 轉換シ其ノ金額及當該年度ノ支出濟總額ヲ社會局長官ニ通知スヘシ
- 第十四條 北海道廳長官、府縣知事及廳府縣健康保險出張所長ハ別記様式ニ依リ歳入歳出決定計算報告書ヲ調製シ翌年度六月十五日迄ニ之ヲ社會局長官ニ送付スヘシ
- 第十五條 社會局長官ハ前項ノ報告書及自己ノ取扱ニ依リ分（前項別記様式ニ依リ）ヲ取纏メ歳入歳出決定計算報告書ヲ調製シ翌年度六月三十日迄ニ之ヲ內務大臣ニ送付スヘシ
- 第十六條 收入官吏納入告知書ニ依ラスシテ現金ヲ領收シタル場合ニ於ケル領收濟報告書ハ現金領收書ノ原符ヲ以テ代用スヘシ
- 第十七條 出納官吏ノ帳簿及金櫃ノ検査員及立會人ハ出納官吏ニ非サル者ノ中ヨリ之ヲ命スヘシ
- 第十八條 本令ニ規定セザルモノニ付テハ大正十一年四月內務省訓令第二號會計事務取扱規程ニ依リ但シ同令第十二條及第十七條ニ內務省又ハ內務大臣トアルハ社會局長官トス

附則
本規程ハ昭和二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭何年度健康保險特別會計歳入歳出決定計算報告書

科 目	測定濟額	收入濟額	不納缺損額	未濟額	備 考
何々(款)	圓	圓	圓	圓	
何々(項)					
何々(目)					
合 計					

備考

社會局ニ於テ總報告書調製ノ場合ハ豫算額及豫算額ニ比シ收入濟額ノ差額ヲ設置スルコト

歳出

科 目	何々(款)		何々(項)		備考
	何々(目)	何々(項)	何々(目)	何々(項)	
豫算額	△	減額	現額	支出	翌年度
△	減額	現額	支出	繰越額	不用額

備考

「流用増減額、不用額及翌年度繰越額アル場合ハ各目ニ付其ノ事由ヲ備考ニ記載スルコト

●保險料其ノ他健康保險法ノ規定ニ依ル徵收金滯納處分ノ爲差押ヘタル物品取扱方ノ件

昭和四年八月一日
內務省訓令第十七號

保險料其他健康保險法ノ規定ニ依ル徵收金滯納處分ノ爲差押ヘタル物品ニシテ其處ニ於テ保管スルモノハ物品會計規則ヲ準用スルコトヲ指定ス

〔山梨警〕

●健康保險積立金運用規則

昭和五年二月二十七日
勅令第三十四號

健康保險積立金運用規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

健康保險積立金運用規則

- 第一條 健康保險特別會計法ニ依ル積立金ハ內務大臣之ヲ管理スベシ
- 第二條 積立金ハ國債ヲ以テ之ヲ保有シ又ハ大藏省預金部ニ之ヲ預入ルルコトヲ得
- 第三條 所管大臣ハ部下ノ官吏ニ命ジテ積立金ノ出納ヲ執行セシムルコトヲ得
- 第四條 積立金ノ出納ニ關スル手續ハ所管大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ムベシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(參照) 預金部資金運用規則 (大正十四年四月一日 勅令第五十五號)

- 第一條 預金部資金ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ運用スヘシ
 - 一 國債ノ應募、引受若ハ買入又ハ一般會計ニ對スル貸付
 - 二 地方債若ハ健康保險組合債ノ應募、引受若ハ買入又ハ地方公共團體若ハ健康保險組合ニ對スル貸付
 - 三 特別ノ法令ニ依リ設立セラレタル法人ニシテ債權ヲ發行スルモノノ發行ニ保ル債券ノ應募、引受若ハ買入又ハ此等ノ法人ニ對スル三年内ノ貸付
 - 四 特別ノ法令ニ依リ設立セラレタル銀行ニシテ社債ヲ發行セサルモノニ對スル貸付
 - 五 外國政府ノ發行ニ保ル國債ノ應募又ハ買入

〔山梨警〕

六 日本銀行ニ對スル在外指定預金

第二條 大藏大臣ハ毎年度預金部資金ノ運用ニ關シ必要ナル計畫ヲ定メ豫メ之ヲ預金部資金運用委員會ニ付議スヘシ其ノ計畫ニ付追加又ハ變更ヲ爲サムトスルトキ亦同シ

第三條 大藏大臣ハ毎年度預金部資金運用報告書ヲ調製シ年度經過後四月内ニ之ヲ預金部資金運用委員會ニ提出スヘシ

第四條 本令ニ定ムルモノヲ除ク外預金部資金ノ運用ノ爲必要ナル事項ハ大藏大臣之ヲ定ム

第五條 預金部資金運用委員會ハ大藏大臣ノ監督ニ屬シ大藏大臣ノ諮問ニ應ジ預金部資金ノ運用ニ關スル事項ヲ調査審議ス

第六條 預金部資金運用委員會ハ預金部資金ノ運用ニ關シ大藏大臣ニ建議スルコトヲ得

第七條 預金部資金運用委員會ハ會長一人及委員十五人以内ヲ以テ之ヲ組織ス

第八條 會長ハ大藏大臣ヲ以テ之ニ充ツ

第九條 委員ハ左ニ掲グル者ヲ以テ之ニ充ツ

- 一 大藏政務次官
- 二 大藏次官
- 三 關係各廳高等官
- 四 會計検査院部長
- 五 日本銀行總裁
- 六 學識經驗アル者

- 前項第三號、第四號及第六號ニ掲グル者ヲ以テ充ツル委員ハ大藏大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ス
- 臨時委員ハ大藏大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官及學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ス
- 第十條 會長ハ會務ヲ總理ス
- 會長事故アルトキハ其ノ指名シタル委員其ノ職務ヲ代理ス
- 第十一條 預金部資金運用委員會ニ幹事ヲ置ク
- 幹事ハ大藏大臣ノ奏請ニ依リ大藏部内高等官ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命シ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス
- 第十二條 預金部資金運用委員會ニ書記ヲ置ク
- 書記ハ大藏部内判任官ノ中ヨリ大藏大臣之ヲ命ス上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ運用中ノ預金部資金ニシテ其ノ運用方法カ第一條ノ規定ニ該當セサルモノニ付テハ同條ノ規定ニ拘ラス仍其ノ運用方法ニ依ルコトヲ得

第二章 助産、看護、施術

●健康保険助産規則

昭和六年十二月二十一日
山梨縣令第五十一號

健康保險助産規則左ノ通定ム

健康保險助産規則

- 第一條 知事ハ本規則ノ定ムル所ニ依リ健康保險ノ被保險者ノ分娩ニ關シ助産ノ手當ヲ爲ス
- 第二條 本規則ニ於テ被保險者ト稱スルハ本縣ニ於ケル健康保險組合員並共濟組合員ニ非サル被保險者並被保險者タリシ者ニシテ健康保險法ニ依リ助産ノ手當ヲ受ケルコトヲ得ヘキ者ヲ謂フ
- 第三條 被保險者ハ知事ノ指定シタル助産婦中自己ノ選定シタル者ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケルコトヲ得
- 被保險者前項ノ規定ニ依リ助産婦ヲ選定シタルトキハ知事ノ承認アリタル場合又ハ緊急ノ場合ヲ除ク外同一分娩ニ付テハ之ヲ變更スルコトヲ得ス
- 第四條 被保險者知事ノ承認ヲ受ケタル場合又ハ緊急ノ場合ニ於テ前條ノ助産婦以外ノ助産婦又ハ保險醫ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケルコトヲ得
- 第五條 被保險者知事ノ承認ヲ受ケタル場合又ハ緊急ノ場合ニ於テハ他ノ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)ノ指定シタル助産婦又ハ保險醫中自己ノ選定シタル者ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケルコトヲ得
- 第六條 被保險者分娩ニ際シ正當ノ理由ナクシテ知事ノ指定シタル助産婦ノ手當ヲ受ケサルトキハ分娩費ハ拾圓ニ減額スルモノトス

- 第七條 被保險者第四條ノ規定ニ依リ知事ノ指定セサル助産婦ノ手當ヲ受ケタル場合ハ拾圓以内ニ於テ助産ニ要シタル費用ニ相當スル金額ヲ支給ス

附則

本規則ハ昭和七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●健康保險助産規則施行細則

昭和六年十二月二十一日
山梨縣令第五十二號

改正 昭和七年一月一日縣令第四七號、一〇年四月第二四號

健康保險助産規則施行細則左ノ通定ム

健康保險助産規則施行細則

- 第一條 被保險者助産ノ手當ヲ受ケントスルトキハ分娩豫定年月日ヲ定メ豫メ知事ニ申請シ助産ノ手當受給資格證明書ノ交付ヲ受クヘシ但シ緊急ノ場合ハ此ノ限りニ在ラス
- 第二條 被保險者前條ニ依リ助産ノ手當受給資格證明書ノ交付ヲ受ケタルトキハ知事ノ指定シタル助産婦(以下單ニ助産婦ト稱ス)ニ之ヲ提出スヘシ但シ已ムヲ得サル事由アルトキハ其ノ事由止ミタル後遲滞ナク助産ノ手當受給資格證明書ヲ其ノ助産婦ニ提出スヘシ
- 第三條 被保險者健康保險助産規則第四條並第五條ノ規定ニ依リ助産ノ手當ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲クル事項ヲ具シ知事ノ承認ヲ受クヘシ
 - 一、被保險者證ノ記號番號
 - 二、工場又ハ事業場ノ名稱及所在地
 - 三、分娩前ノ場合ニ在リテハ分娩豫定年月日
 - 四、分娩後ノ場合ニ在リテハ分娩アリタル年月日

五、現ニ助産婦又ハ保險醫ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケルモノニ在リテハ其ノ助産婦又ハ保險醫ノ氏名開業地又ハ診療所所在地ニ在リテハ其六、知事ノ指定セサル助産婦又ハ保險醫ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケルヲ必要トスル事由

七、保險醫ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケントスル場合ニ在リテハ醫師又ハ助産婦ノ意見ヲ付シタル助産ノ手當ノ内容及費用ノ見積額

緊急ノ場合ニ於テ前項ノ承認ヲ受ケルノ違ナクシテ助産婦ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケントスルモノハ被保險者タルコトヲ確認シ得ヘキ證憑ヲ保險醫ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケントスル者ハ被保險者證ヲ其ノ助産婦又ハ保險醫ニ呈示スヘシ但シ已ムヲ得サル事由アルトキハ其ノ事由已ミタル後遅滞ナク被保險者タルコトヲ確認シ得ヘキ證憑又ハ被保險者證ヲ助産婦又ハ保險醫ニ提示スヘシ

前項ニ依リ助産婦又ハ保險醫ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケタルトキハ第一項第一號第二號第五號後段及第七號後段ノ事項ノ外緊急ナリシ事由ヲ記載シ五日以内ニ知事ニ届出ツヘシ

第二項ノ規定ハ知事ノ管轄ニ屬セサル被保險者カ知事ノ指定シタル助産婦又ハ保險醫ニ就キ助産ノ手當ヲ受ケントスル場合ニ之ヲ準用ス

第四條 被保險者健康保險助産規則第七條ノ規定ニ依ル助産ノ手當ニ要シタル費用ノ支給ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ具シ助産ノ手當ニ要シタル費用ノ額ニ關スル證憑書類ヲ添付ノ上申請スヘシ

一、被保險者證ノ記號番號

二、分娩アリタル年月日

三、死産ナルトキハ其ノ旨

四、知事ノ承認ナクシテ其ノ指定セサル助産婦ノ手當ヲ受ケル場合ハ其ノ事由

五、助産ノ手當ノ内容

〔山梨醫〕

六、助産ノ手當ヲ受ケタル助産婦ノ住所氏名

第五條 助産婦ノ指定ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ具シ知事ニ申請スヘシ

一、産婆名簿登録番號及同登録年月日

二、現住所氏名生年月

三、開業地

前項ノ記載事項ニ異動アリタルトキハ二十日以内ニ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

第六條 助産婦ハ左ニ掲グル事項ヲ遵守スヘシ

一、被保險者ヨリ助産ノ手當ヲ求メラレタルトキハ故ナク之ヲ拒マサルコト

二、削除

三、削除

四、分娩ニ關シ保險醫ノ診療ヲ必要トスル場合ハ遅滞ナク此ノ旨ヲ知事ニ報告スルコト

五、別記様式第一號ニ依リ助産簿ヲ備付ケ必要ナル事項ヲ記入スルコト

六、別記様式第二號ニ依ル表札ヲ開業所ノ見易キ個所ニ掲グルコト

七、助産ニ關スル帳簿及書類ハ其ノ完結ノ日ヨリ三ヶ年間保存スルコト

第七條 助産婦ニシテ前條ノ規定ニ違反シタルトキハ其ノ指定ヲ取消スコトアルヘシ

第八條 助産婦タルコトヲ辭セントスルトキハ少クとも一ヶ月以前ニ其ノ旨ヲ知事ニ届出ツヘシ但シ縣外ニ住居ヲ移シ又ハ業務ヲ廢止シ若ハ休止スル場合ハ此ノ限りニ在ラス

第九條 助産婦助産ノ手當ヲ完了シタルトキハ別記様式第三號ニ依リ其ノ報酬ヲ知事ニ請求スヘシ

附則

本則ハ昭和七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔山梨醫〕

様式第一號

特殊事項	月	日	手	當	ノ	種	別	被保險者		氏名	生年月	分娩		同	分	手	當	ノ	種	別			
								被保險者證ノ記號番號	住所			性別	工場所在地名								死産ノ別	流産早産ノ正規別	體

様式第二號

二寸五分

健康保險助産婦

六寸

〔山梨縣〕

助産手当受給資格證明書

右ハ分娩豫定日前一ケ年内ニ於ケル被保險者タリシ日數 日ニシテ健康保險法施行令第八十二條ニ依リ助産ノ手当ヲ受ケルコトヲ得ヘキ者ナルコトヲ證ス

分産豫定年月日	昭和 年 月 日
被保險者證ノ記號及番號	
被保險者住所氏名生年	
出生年月日	

昭和 年 月 日

山梨縣

様式第三號

助産報酬請求書

〔山梨縣〕

請求額金	分	種別	手當ノ内容	特殊事項	右請求候也 昭和 年 月 日
	種別				
被保險者	性別	回数	種別	特別	山梨縣知事 宛
	住居所 記號番號 氏名 生年月日				
流産早産 正規産ノ別産	體重	種別	種別	特別	助産婦住所 氏 名

●看護婦會トノ契約ニ關スル件

契約書

政府管掌ノ健康保險ノ被保險者ニ對スル附添看護ニ關シ山梨縣ト私立山梨看護婦會、私立山梨博愛看護婦會トノ間ニ契約ヲ締結スルコト左ノ如シ

第一條 本契約ニ於テ山梨縣ヲ縣トシ私立山梨看護婦會、私立山梨博愛看護婦會ヲ看護婦會ト稱ス

第二條 看護婦會ハ本契約ノ定ムル所ニヨリ縣知事ノ要求ニ應シ又ハ健康保險醫ニシテ縣知事ノ承認ヲ受ケ之カ要求ヲナシタルトキハ之ニ應スルモノトス

第三條 看護婦會ノ引請クヘキ被保險者ハ政府ノ管掌スル被保險者トス但シ山梨縣管轄外ノ被保險者ニアリテハ緊急ノ場合ノ外其ノ屬スル府縣長官ノ承認アリタル場合トス

第四條 看護婦會ノ引請クル看護ハ會員ヲ以テシ其ノ範圍ハ看護婦會所定看護婦派遣規定ニ準スルモノトス

第五條 看護婦會ハ常ニ監督ヲ殿ニシ本契約ニ依リ看護ニ從事スル看護婦ヲシテ被保險者ニ對シ公正懇切ニシテ荷モ差別的取扱ヲナスカ如キコトナカラシムルモノトス

第六條 本契約ニヨリ看護婦ニ支拂フヘキ看護報酬ハ左ノ通トス但シ特別ノ事情ニ依リ之ニ據リ難キ場合ハ特ニ協定スルモノトス

普通患者 一日ニ付 金壹圓五拾錢

傳染病患者 一日ニ付 金壹圓八拾錢

第七條 前條ニ定ムル傳染病トハ看護婦會所定ノ派遣規定第二十二條ニ準スルモノトス

第八條 看護婦ニ支拂フヘキ食費ハ其ノ病院ニ於ケル最低實費トス但シ何等規定ナキトキハ一食ニ付金貳拾錢トス

第九條 看護婦ニ支拂フヘキ旅費ハ左ノ通トス

一、汽車、電車

參等實費

第十條 本契約ハ縣知事ニ於テ必要アリト認ムル場合ハ契約期間内ニ於テモ之ヲ解除スルコトヲ得ルモノトス

第十一條 本契約期間ハ昭和 年 月 日ヨリ昭和 年 月 日迄トス

第十二條 本契約期間満了當日迄ニ契約當事者ノ一方ヨリ契約解除ノ豫告ヲ爲サザルトキハ滿期ノ翌日ニ於テ向フ一ケ年間順次契約ノ更新ヲ爲シタルモノト看做ス

右契約ノ確實ヲ證スル爲本書貳通ヲ作製シ双方調印ノ上各壹通ヲ所持スルモノトス

昭和 年 月 日

山梨縣 知事 氏 名 印
 私立山梨看護婦會會長 氏 名 印
 私立山梨博愛看護婦會會長 氏 名 印

●柔道整復師會トノ協定ニ關スル件

協定書

昭和十一年五月

政府ノ管掌スル健康保險ノ被保險者ノ柔道整復施術ニ關シ山梨縣知事ト山梨縣柔道整復師會會長トノ間ニ別表ノ通料金ヲ協定ス

本協定ノ有効期間ハ協定ノ日ヨリ翌年三月三十一日迄トス但シ期間満了一ケ月前迄ニ各當事者ヨリ何等ノ意思表示ヲ爲サザルトキハ滿期ノ翌日ニ於テ向フ一ケ年間順次協定ノ更新ヲ爲シタルモノト看做ス

〔山梨縣〕

〔山梨縣〕

右協定ノ確實ヲ證スル爲本書二通ヲ作成シ双方連名調印ノ上各一通ヲ所持スルモノナリ

昭和十一年五月二十六日

山梨縣 知事 土屋 正三 印
 山梨縣柔道整復師會會長 淺井 學 藏 印

別表

山梨縣柔道整復師會健康保險被保險者施術料金表（昭和十一年五月二十六日協定）

1	肩胛骨々折	一、五〇	17	腓骨々折	一、〇〇
2	鎖骨々折	一、五〇	18	跟骨々折	一、〇〇
3	肋骨々折	一、〇〇	19	距骨々折	一、〇〇
4	骨盤骨々折	〇、五五	20	趾骨々折	一、〇〇
5	上膊骨々折	一、五〇	21	趾骨々折	〇、八五
6	肘關節骨折	一、二〇	22	下顎骨脱臼	〇、五五
7	兩前膊骨々折	一、五〇	23	肩胛關節脱臼	二、五〇
8	腕骨々折	一、〇〇	24	鎖骨脱臼	一、〇〇
9	尺骨々折	一、〇〇	25	肘關節脱臼	一、〇〇
10	腕骨々折	〇、八五	26	腕關節脱臼	一、〇〇
11	掌骨々折	一、〇〇	27	掌指關節脱臼	〇、五五
12	指骨々折	〇、七五	28	指關節脱臼	〇、五五
13	大腿骨々折	二、五〇	29	股關節脱臼	五、〇〇
14	膝蓋骨々折	二、五〇	30	膝關節脱臼	一、〇〇
15	兩下腿骨々折	二、〇〇	31	足關節脱臼	一、〇〇
16	脛骨々折	一、二〇	32	跗骨間關節脱臼	一、〇〇

第九編 健康保險

第二章

助産、看護、施術

四、往療料 一回ニ付 〇、二〇

車馬賃ハ患者ノ負擔トスルモ片道半里以内ノ場合ハ之ヲ請求セザルモノトス

五、文書料

健康保險ニ關スル證明書又ハ意見料ハ無料トス

六、其他

イ 本表中ノ1乃至21ガ不全骨折ナル場合ノ施術料ハ各其ノ六割トス

ロ 施術ハ懇切ヲ旨トシ且ツ必要ノ範圍及限度ニ於テ努メテ經濟的ニ之ヲ行フコト

ハ 被保險者ヨリ施術料金ヲ領收シタルトキハ附表様式ノ領收證ヲ交付スルコト、施術ガ不全骨折ナル場合ハ右領收證中施術ノ種別欄ニ傍示スルコト

第九編 健康保險 第三章 保健施設

- トアルベシ
 - 一、毎月第一日曜日及第三日曜日以外ノ日曜日
 - 二、祝祭日但シ當日ガ前號ノ第一日曜日又ハ第三日曜日ニ當ルトキハ此限ニ在ラズ
 - 三、十二月三十日ヨリ翌年一月三日迄
- 第十一條 本規程ニ定ムルモノノ外相談所ニ關シ必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

附則 本規程ハ昭和十一年十月二十日ヨリ之ヲ施行ス

●健康保險相談所名稱位置

昭和十一年十月二十六日
山梨縣告示第五百九十六號

昭和十一年十一月一日ヨリ左ノ健康保險相談所ヲ開設ス

名稱 山梨縣健康保險相談所
位置 山梨縣甲府市代官町三十五番地ノ一

●健康保險相談所處務規程

昭和十一年十月二十三日
山梨縣訓令乙第二四二號

健康保險相談所處務規程左ノ通定メ昭和十一年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス
右訓令ス

第一條 健康保險相談所(以下單ニ相談所ト稱ス)ニ左ノ職員ヲ置ク

〔山梨警〕

- 一、主任
- 一、醫員
- 一、事務員
- 一、看護婦

第二條 主任ハ有給醫員ノ上席者ヲ以テ之ニ充ツ
主任ハ警察部健康保險課長ノ指揮監督ヲ受ケ所務ヲ掌理シ所員ヲ監督ス

醫員ハ健康相談ノ外技術ニ従事ス

事務員ハ主任ノ命ヲ受ケ庶務ニ従事スルノ外健康保險ニ關スル一般的事務相談ニ應ジ諸手續ニ關スル指導又ハ代行ニ當ルモノトス

看護婦ハ醫員ノ命ヲ受ケ健康相談ノ補助、太陽燈ノ照射又ハ看護ノ指導等ニ當ルモノトス

第三條 相談所必要アルトキハ所名ヲ以テ文書ノ往復ヲ爲スコトヲ得

第四條 主任ハ其ノ職務上重要又ハ異例ト認ムル事項ニ付テハ警察部健康保險課長ニ稟伺ノ上之ヲ處理スベシ

第五條 相談所職員ハ其ノ職務上知り得タル事項ヲ故ナク他ニ漏洩スベカラズ

第六條 相談所ニ於テ備フベキ簿册左ノ如シ

- 一、日誌
- 二、出勤簿
- 三、文書受發簿
- 四、出張命令簿
- 五、備品明細簿
- 六、消耗品受拂簿
- 七、郵便切手類受拂簿

〔山梨警〕

- 八、事務相談簿
 - 九、診断簿
 - 十、太陽燈照射簿
 - 十一、看護指導簿
 - 十二、取扱事項日計簿
- 第七條 相談所ニ於テ備フベキ帳簿及其ノ他必要ナル様式ハ警察部健康保險課長之ヲ定ム
- 第八條 主任ハ事務ノ狀況ヲ調査シ所定ノ様式ニ依リ當月分ヲ翌月五日迄ニ警察部健康保險課長ニ報告スベシ
- 第九條 本規程其ノ他別段ノ定メアルモノヲ除クノ外必要ナル事項ニ付テハ應中處務細則ノ例ニ依ル

第九編 健康保險(終)





